

今日も! 田中しんすけの 胸を張って、元気よく!!

◆ 福岡市政ドキュメント ◆ 第13号 2010年 夏号

福岡市議会 民主・市民クラブ
 マニフェスト作成プロジェクト中間報告!

発行者: 福岡市議会議員 田中しんすけ
 (民主・市民クラブ)
 〒810-0014 福岡市中央区平尾2-15-20 2F
 TEL 092-521-3650 FAX 092-521-5221
 URL: http://www.tanakashinsuke.jp
 E-mail: info@tanakashinsuke.jp

福岡市の未来が「見える」 マニフェスト提言に向けて、議論沸騰中!!

民主・市民クラブが「マニフェスト作成プロジェクト」を始動させてから、ちょうど一年が経過しました。その間、都市を発展させていくために、そこに住む人々の暮らしが豊かになるために必要な基本戦略を徹底的に議論。3つの部会(生活保障部会、成長戦略部会、地域主権部会)に分かれ、全議員参加のもと、ミーティングを重ねています。今回は、プロジェクトにおける熱い議論の中間報告をさせていただきます!

生活保障部会

部会の役割

確かな成長戦略によって生み出される恒久的な財源を、市民生活の安心・安全を実現するために適切に支出(再分配)する必要があります。その再分配に関する理念と手法を確立するための議論を担当しているのが、この「生活保障部会」です。子育て支援、教育環境の向上、医療・健康増進に関する政策に加え、雇用の拡大や維持につながる政策もカバーする、いわゆる「生活者起点」での政策議論を展開しています。

議論の方向性

人々の生活が成り立つためには、一人ひとりが働き続けることができ、また、何らかのやむを得ぬ事情で働けなくなったときに、所得が保障される、あるいは再び働くことができるような支援を受けられることが必要です。雇用と社会保障をうまくかみ合わせることで、このような環境を実現させる政策を提言していきます。

私たちが考える 都市経営の基本戦略



地域主権部会

(政治のありかたの議論)

成長戦略部会

部会の役割

経済活動が活発な都市には様々な人が集まり、人々の活気溢れる活動が人や物をさらに惹き付けることとなります。そのような「経済活動の好循環」を生み出すために必要な施策を提言するのが、この「成長戦略部会」です。また、人の往来が活発になり経済活動の規模が拡大すると、それに伴い税収(政策の財源)が増加します。このように、「増税によらない財源増」というスタイルをこの福岡市で確立することも、成長戦略部会の重要な役割です。

議論の方向性

福岡市の成長戦略を「日本の中での福岡の役割による成長戦略」、「アジアとのビジネス関係づくりを通じた成長戦略」、「成長の基盤となる都市づくり」という3領域から具体的な政策提言を実施。特区、ソーシャルビジネス、企業の競争基盤整備といった視点から集中投資するという、戦略的な議論が交わされています。

議論の方向性

市民自治では、これからの自治体経営に「市民自治力」は不可欠であるという認識から、「新しい市民自治」の仕組みを検討しています。議会改革では、より市民に身近な議会となり、市民参加の拡大を通して民意をしっかりと反映する機関に変わることが必要であるという認識から、議会のありかたや議員の役割を根本から見直そうとしています。

また、行政改革では、これまでの市役所(区役所)の仕事の中身を抜本的に見直し、行政のスリム化を図っていきます。さらに、「市民がものごとを決める主役」という理念を前提に、市民が政策について分かりやすい情報公開の仕組みを実現していきます。

地域主権部会

部会の役割

福岡市の成長戦略や税金の再分配のありかたについて、「それらの方針をどういう仕組みで決めるか?」という、「政治(意思決定)のありかた」を再構築する役割を担っています。

振り返り活動(その1) 田中しんすけ市政報告会 & 意見交換会のお知らせ

暑中御見舞い申し上げます

お話しあわせの上でお気軽にご参加下さい



田中しんすけが福岡市議会議員としての活動を始めて3年3カ月が経過。みなさんから負託を頂き、様々な活動に取り組んできましたが、一期目の議員任期もいよいよ残り1年を切りました。そこで、これまでの議員として取り組んできた活動をみなさんにご報告するとともに、今後の福岡市政、福岡市議会に対するご意見を頂くために、市政報告会(意見交換会)を開催いたします。みなさんから頂いたご意見は「エリア別まちづくり計画」や、現在作成中の「民主・市民クラブ会派マニフェスト」にも反映していきます!

校区別

市政報告会 開催要項

場所	お住まいの校区の公民館
時間	原則、土曜日もしくは日曜日の午後
参加費	無料
内容	市政や市議会に関するものに限らず、色々なお話ができればと思います。

※実施場所、実施日時の詳細は、田中しんすけ市政相談所までお尋ねください!

ご自宅に配布されるチラシもご参照ください

みなさん
どうぞお気軽にご参加ください!

振り返り活動(その2)

みなさんの声で 住みやすい地域になる エリア別まちづくり計画 (平尾・薬院編)



田中しんすけは、これまで多くの市民のみなさんと直接お会いし、意見交換を実施してきました。その中には、「自分の住む地域がこうなってくれたら良いのに!」、「行政がこういう支援をしてくれたらなあ…」という、わがまちをもっと魅力あるエリアにしたいというご意見も多数ありました。今回は、平尾・薬院エリアに関する提案をご紹介します!

新しい学問のまち「平尾」

九州エネルギー館や九電体育館の跡地に福岡市立大学を新設。⇒現在の浄水通りが「大学通り」になる。動物園までの通り道。

歩きたくなる粋でお洒落な街「平尾」

若い女性やカフェが多い、スタイリッシュなエリア。山荘通りの拡幅は、商店街の賑いを考慮した設計に! ⇒道幅は広すぎず、歩道部分はベンチや草花オープンスペースなどを設置。動物園までのルートは花やプランターで統一する。



都心にホテルが棲む 名所「薬院」

●薬院新川の護岸を大規模に改修。人工的に自然を創出する。

イベントスペース「平尾」

●平尾駅前の福岡市計量検査所を移転し、オープンスペース(イベントスペース)として整備。⇒商店街イベントを軸に、他の団体イベントの活用を促す。平尾山荘公園の活用も検討。

まちづくりビジョン

地方議会の役割について考える

—議会改革シンポジウムに参加して—

5月29日(土)、市内において、自治体議会改革フォーラムが主催する「市民と議員の条例づくり交流会in九州」が開催されました。

地方議会改革の第一人者として活躍する廣瀬克哉教授(法政大学法学部)は基調講演の中で、名古屋市や阿久根市で注目を浴びている「議会不要論」の風潮に触れ、「このような議論が出てくる原因は、議会(議員)側も『議会の在るべき姿』を理解できていないことにある」と現在の地方議会を一刀両断。「だから、議会改革と言われたときに、『カネ と ヒトを減らします』ということしか言いきれない」と手厳しい挨拶から始まりました。



▲市民への議会報告会の様子

また、「地方議会を実りのある『議論の場』とするためにも、『議員間の討議』を取り入れるべき。論点・争点などを公開し、議場において議員同士で賛成・反対の議論をすべし」と指摘。議員から執行部への質疑しか認められていないこれまでの福岡市議会の状況を振り返っても、非常に反省させられるお話でした。

田中しんすけ市政相談所

☎ 092-521-3650



お気軽にご連絡下さい!!

田中しんすけ

昭和53年6月14日生まれ(31歳)

1991年 西高宮小学校 卒業	2004年 早稲田大学大学院 政治学研究科修士課程 修了
1994年 西南学院中学校 卒業	同年 アクセンチュア株式会社 入社 (旧アンダーセンコンサルティング社)
1997年 筑紫丘高等学校 卒業	
2001年 九州大学法学部 卒業	2007年 福岡市議会議員(1期)